

Liberty

新たな危機—大阪市が2015年度から 土地賃借料（年約2,700万円）要求

2013年4月から大阪府・大阪市は補助金1億2千万円を全額廃止しました。この危機的状況に直面して、私たちは大幅な人件費の削減等によって自ら経営努力を行うと共に、多くの人びとにスポンサー・サポーターとしてご支援をいただき、なんとか運営を継続することができております。しかし、厳しい状況は変わっておりません。それどころか新たに大阪市は土地の賃借料を要求してきました。リバティおおさかが立地する土地は、そもそも地域住民が子どもたちの教育のために小学校を建設すべく、市に寄贈したものです。にもかかわらず、大阪市は市有地だとして年2,700万円近くを求めようとしています。この間、大阪人権博物館では、特別展「いじめと差別」をはじめ、「水俣病に向き合った医師たち」「高松結婚差別裁判事件」「命のメッセージ展」など多彩な企画展を開催し、多くの来館者を得ました。大阪人権博物館は人権教育啓発の推進に大きな役割を果たしており、これまでと同様に、その公益性に基づいて賃借料の減免を求めたいと考えています。

サポーター（年会費会員）確保が館存続の生命線！

もうひとつの課題は、危機回避の一時金的要素としてスポンサーのご寄付が寄付金収入の多くを占めており、運営を継続的に維持するためには、年会費としてサポーターの数が生命線ですが、加入者は残念ながら約1,800口、金額にして約1,100万円で、当初目標の5,000口、3,000万円にはかなり及ばない状況です。本館では昨年度、事業規模を1億4千万円から7千万円に半減し、人件費も6割ほど削減しました。そのため、職員も学芸員の5名が退職されるなど体力がかなり低下しております。その上に追い打ちをかけるように、大阪市が借地料として2,700万円を要求してきますと、事業規模は9,700万円を予定しなければなりません。そうしますと、入館料等による収入を2,500万円と見込むとしても、7,000万円ほどサポーター等の寄付で賄わなければなりません。このままでは2015年度からの運営継続が困難となりかねない危機的状況です。支出をさらに5,000万円（大半は管理費）に絞りこんだとしても、サポーターについては少なくとも8,000口（約5,000万円）を確保しなければなりません。私たち大阪人権博物館は、このような新たな危機的状況に直面し、さらなる経営努力に努めてまいりますが、ご支援いただいている皆様におかれましても、なにとぞ窮状をご理解の上、リバティおおさかの灯を消さないため、一人でも多くの方に、サポーターの継続並びに新規加入をしていただきますよう、切にお願いする次第です。

公益財団法人 大阪人権博物館 理事長 成山治彦

2014年度特別展、企画展などの予定

①特別展 第69回特別展「歴史のなかの憲法」

◇日時 2014年7月22日(火)～9月20日(土)

◇会場 大阪人権博物館特別展示室

②企画展1 開館30周年記念「収蔵品にみる人権の歴史」

◇日時 2014年11月18日(火)～2015年3月19日(木)

◇会場 大阪人権博物館特別展示室

③企画展2 ネルソンマンデラと日本の反アパルトヘイト活動

◇日時 2014年11月4日(火)～12月19日(金)

◇会場 大阪人権博物館ガイダンスルーム2

④企画展3 SAY NO TO RACISM-人種差別にレッドカード

◇日時 2014年7月22日(火)～9月20日(土)

◇会場 大阪人権博物館ガイダンスルーム2

⑤人権問題セミナー 「韓国時代劇を読み解く」

◇日時 2014年10月～2015年3月の第2土曜日

◇会場 大阪人権博物館研修室

◇時間 14時～16時

◇参加費 入館料のみ

⑥なにわの日イベントへの参加 「太鼓ストラップづくり」

◇日時 2014年7月26日(土)13時半～

◇会場 大阪人権博物館

◇参加費 入館料、材料費実費

⑦共催企画1 「ジャンボ! アフリカ! 釜ヶ崎とキベラスラムの出会い」(終了)

◇日時 2014年4月6日(土)13時～

◇会場 大阪人権博物館リバティホール

⑧共催企画2 映画「ある精肉店のはなし」上映会

◇日時 2014年9月20日(土)

◇会場 大阪人権博物館リバティホール、中庭

⑨共催企画3 BARRIERFREE AMUSEMENT THEATER(BAT)

「壺坂寺(お里沢市)ルルドの泉!～奇跡が起こる、その時は!??～」

◇日時 2014年10月25日(土)、26(日)14時～16時(予定)

◇会場 大阪人権博物館リバティホール

◇参加費 未定

⑩共催企画4 なにわりバティまつり2014

◇日時 2014年11月29日(土)10時～

◇会場 大阪人権博物館リバティホールを中心に

◇参加費 無料

⑪共催企画5 リバティアートフェスタ2014

◇日時 2015年1月(調整中)

◇会場 大阪人権博物館リバティホール、ホワイエ

総合展示をリニューアルしました

(統一テーマ、ゾーン名は変更していません。)

人権問題に関するテーマがたくさん！

「ホームレス」、「公害被害者」のコーナーなど盛り沢山。差別や人権問題の視点で大阪の人物を紹介したパネルや、部落問題のコーナーについては「部落問題の現在」や、リバティおおさかが立地する「浪速地域」のコーナーでは当時（大正、明治時代）の絵図を充実させました。

また、昨年度反響のあった、特別展「いじめと差別」、企画展「水俣病に向き合った医師たち」をリメイクしております。



ホームレスのコーナー



公害被害者のコーナー



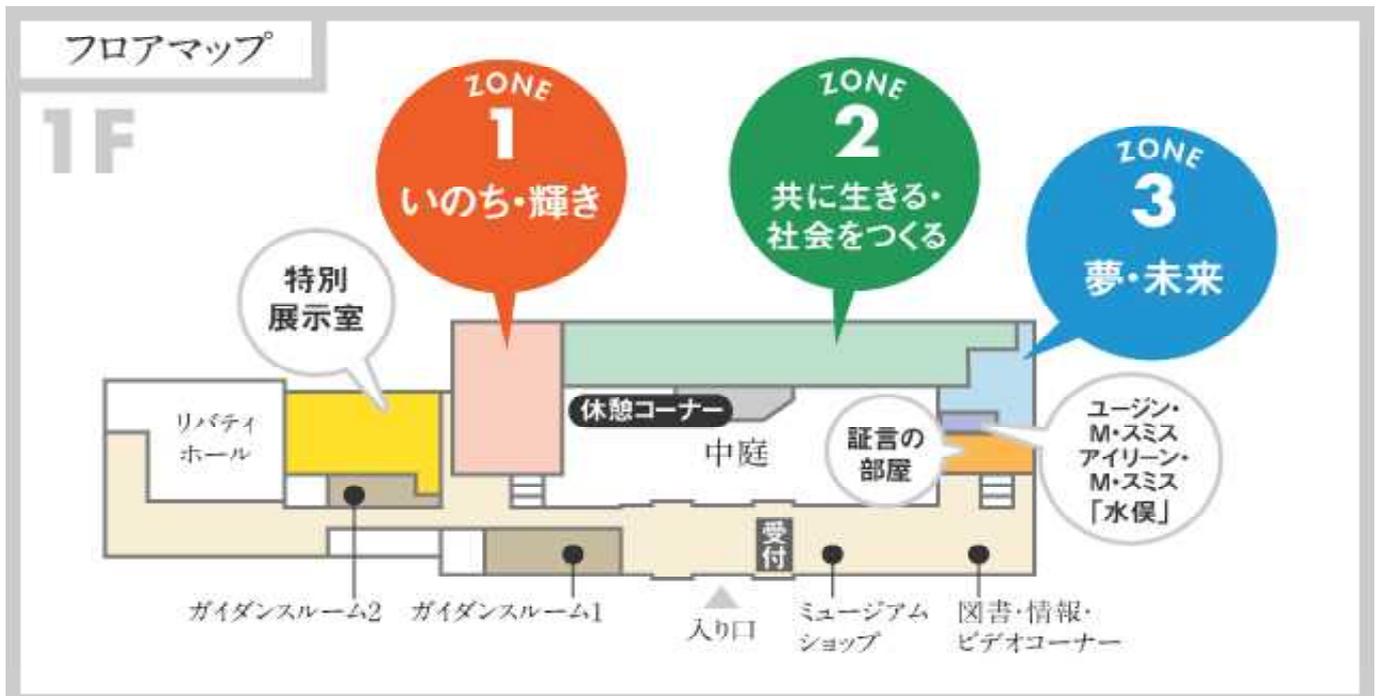
浪速部落の歴史コーナー



いじめのコーナー



(体験コーナーは変更していません)



入館料	個人	団体
大人	500円	400円
高大生	300円	200円
中学生	200円	100円
小学生	200円	100円
65歳以上	300円	200円

* 障害者（介護者を含む）の方は無料

* 見学の予約をされた場合、下見の予約をして頂ければ、3名まで無料で下見できます。

◎ 学芸員講座（大人対象）

◎ フィールドワーク

	60分、(なにわフィールドワーク)
基本料金	30,000
割引料金1	27,000
割引料金2	24,000

※1) 複数回申込みにより、1割引

※2) リバティサポーター5口以上の団体は2割引

◎ 施設貸出（ホール）

※ 備品は別途料金 リハーサル、稽古等の場合は割引料金

	9:15～12:00	13～17	18～21	9:15～17	13～21	9:15～21
基本料金	30,000	40,000	50,000	50,000	70,000	100,000
割引料金	15,000	20,000	25,000	25,000	35,000	50,000

(研修室)

	研修室①	研修室②	研修室③	研修室④
9:15～17	1,500	1,500	1,000	1,000
17～21	5,000	5,000	3,000	3,000
定員	40	72	12	16

※1時間あたりの料金

◎ パネル貸出

基本料金	30,000
------	--------

※ 1週間の料金、1週間以上の場合は要相談、送料実費

* 4月～6月の開館カレンダー* (黒枠は休館日)

2014年4月							2014年5月							2014年6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3							
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	14
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	15	16	17	18	19	20	21
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28
														29	30					

- 開館時間 通常10:00～16:00 (入館は15:30まで)
土曜10:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 日曜、月曜、祝日、第4金曜
12/20～1/10、3/20～4/10
- 入館料 大人500円 (400円)、高・大生300円 (200円)
小・中生200円 (100円)、65歳以上300円 (200円)
障害者 (介助者含む) は無料
※ () 内は有料入館者が20名以上の場合
- 電車でお越しの方 JR環状線「芦原橋駅」南出口、600m

